

第29回定期中央本部大会を開催

平成29年7月5〜7日の3日間、ホテルグランヴィア岡山において、岡山地本の準備のもと、第29回定期中央本部大会が開催された。代議員、傍聴者、来賓の総勢500名を越す出席者が集い、白熱した議論を交わした。大会議長には、開催地本である岡山地本の今井代議員と和歌山地本の脇村代議員が選出され、スムーズな大会進行に務めた。

萩山執行委員長の代表挨拶の中で、「職場からの安全の確立」・「環境変化を踏まえた企画提案運動の展開」・「求心力のある組織と運動作り」・「政策活動と地域活性化の推進」・「政治参加の積極的な推進」について提案、要請したほか、今大会で「次代の運動指針」を提起する旨、表明した。本会議では中央本部より経過報告及び運動方針などが提起され、全体質疑では各地本と青年女性委員会の代表者15名より安全確立、組織の強化・拡大、業務に関わる諸課題、政治・政策、地域活性化等の発言があった。

金沢地本を代表して、支社支部選出の中村代議員が①安全の確立について②2017春闘の総括③北陸新幹線に関する諸課題について④組織の拡大・強化について⑤政治の関わりを含む5点について発言を行った。

また、大会2日目には小委員会が開催された。組織・財政を課題とする第1小委員会では、米子地本選出の大川代議員が小委員長に選出された。安全課題・組織課題・教育関係・福祉対策関係・働き方改革・地域活性化等35名の代議員より62項目の発言があった。金沢地本からは勢登（金沢）・合田（高岡）・類瀬（糸魚川）・平野（福井）の各代議員より発言を行った。金沢地本からは山下（支社）・中山（青女）の各代議員が発言を行った。

第2小委員会では大阪地本選出の小出代議員が各小委員長に選出された。安全課題・賃金関係・業務課題・被服等46名の代議員より114項目の発言があった。金沢地本からは勢登（金沢）・合田（高岡）・類瀬（糸魚川）・平野（福井）の各代議員より発言を行った。大会3日目の最終日には両委員会より、各小委員会での発言内容について、本会議にて報告があり。

また、全体質疑の後に、本田書記長による総括答弁（内容については下記参照）後、採択を行い満場一致で運動方針について確認を合した。

また今大会は人事大会であり役員改選により、4期8年に渡り中央本部専従役員として、JR西労組に御尽力頂いた本田 雅明書記長と1期2年会計監査員として、御尽力頂いた前田 健治地本副委員長の名が退任され、新たに会計監査員として、吉川 義人地本執行委員が就任した。

最後に、結成25周年の歴史に学び、安全を基礎に次代に責任ある運動を進める事を誓いあい萩山執行委員長の団結カンパニーで大会を締め括った。



全体質疑で発言する
中村 康雄代議員 (支社支部)



JR西労組中央本部新役員

役職名	氏名	出身地本	専・非	新・再
執行委員長	萩山 市朗	本社総支部	専従	再任
副執行委員長	里内 義次	京都	専従	再任
〃	城 義実	和歌山	専従	新任
書記長	上村 良成	本社総支部	専従	新任
執行委員	白壁 靖子	大阪	専従	再任
〃	禅野 康	大阪	専従	再任
〃	川原 晃一	大阪	専従	新任
〃	福本 英治	岡山	専従	新任
〃	宮野 勇馬	岡山	専従	再任
〃	羽野 敦之	本社総支部	専従	再任
〃	岩森 智美	京都	非専従	新任
〃	森 聖也	京都	非専従	新任
〃	山下 真実	大阪	非専従	新任
〃	森川 幸司	神戸	非専従	新任
会計監査員	吉川 義人	金沢	非専従	新任
〃	木下 幸一	大阪	非専従	再任
〃	鷺尾 保	神戸	非専従	再任
〃	河口 裕	広島	非専従	再任

今大会で退任された役員

- ・須藤 悦夫 副執行委員長
- ・宇田 裕計 執行委員
- ・若林 裕子 執行委員
- ・柏井 裕美 執行委員
- ・本田 雅明 書記長
- ・石松 大介 執行委員
- ・牧野 誠 執行委員
- ・前田 健治 会計監査
- ・本庄 健一 執行委員
- ・東 賢市 執行委員
- ・松浦 正義 執行委員



新たに選出された
吉川 義人 会計監査員



今大会で退任された
前田 健治 会計監査員（左）、本田 雅明 書記長（右）

本田書記長 総括答弁要旨

① 安全の取り組みについて

福知山線脱線事故から12年、伯備線触車事故から11年が経過した。節目でも区切りでもないことは労使共通の認識であり、安全の取り組みをこの先どのように活かしていくのが重要である。安全にゴールはなく全員で作上げていかなければならない。

② 2018春闘について

2017春闘では、ペア750円を獲得し、グループ労組にも一定の波及効果を生み出すことが出来た。2018春闘についても「賃金は最大の労働条件」「黒字である以上は公正な成果配分を求める」との基本認識に立ちJRグループ全体の底上げを図り、「底上げ・底支え」「格差是正」に寄与する春闘を展開していきたい。

③ JR西労組結成25周年と、職場のあり方について

国鉄改革を経て、1992年12月6日にJR西労組が結成された。今後、私たちがどのように発展させていくか、「次代の運動指針」の共有化をお願いしたい。職場のあり方提言委員会については、引き続き第2次提言の実現に向けて取り組みを進め、会社と協議していきたい。また制度の実態を検証しながら課題解決に向けて取り組みを行っていく。

④ 組織課題について

JR西労組運動の理解と浸透、コミュニケーションの強化に努め、分会活動を基礎に、全組合で活動していきたい。成果と課題を踏まえてJR入社世代がリーダーシップを発揮し、組織や運動、労使関係、社会的使命、政治や政策などの課題を組合員全員参加で取り組む事とする

⑤ 民主化闘争・政策課題・政治活動について。

支援単組として必要に応じた支援の取り組みを展開することとする。JRを取り巻く政策課題は多くあり、JR連合と連携し、国会議員懇談会を通じて課題解決に向け取り組んでいく。政治活動について、私たちの声を代弁するのは議員である。政治との関わりを理解して頂き、全組合員が選挙への参加を要請する。また「交通政策をすすめる会」については、各級機関の協力のもと加入拡大を要請する。